

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 7

千葉県立千葉南高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校への志望理由が明確で、人物に優れ、入学後も高い目標と旺盛な向上心を持って主体的に学校生活に取り組み、かつ、次のア又はイのいずれかを備える生徒

ア 学習成績が特に優れている生徒

イ 学習成績に優れ、部活動、生徒会活動、学校行事等に積極的に取り組む生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
面接	受検者4～5名・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ約15分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書〔165点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限30点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の個数が2個以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び 特記事項	部活動、生徒会活動、学校行事、その他の活動等で特に積極的に取り組んだと認められる記述について、検定については実用英語技能検定及び日本漢字能力検定準2級以上の記述がある場合は、加点（上限30点）する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔20点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aa～cc）で得点化する。ただし、評価cが1つでもある場合は審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機	千葉南高校を志望する動機・意欲が明確である。
イ 高校生活への意欲	入学後の目標や将来の進路などの意識が明確である。
ウ 質問に対する応答	評価項目ア・イの他、中学校時代の生活等を明確かつ適切に回答ができる。
エ 面接に臨む態度	基本的な面接作法が身につけている。 服装・態度等に問題がない。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の 得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K=1）	加点	面接	
500点	135点	30点	20点	685点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。